



日本遠隔医療学会雑誌 第14巻 補刊号
平成31年3月

Japanese Journal of Telemedicine and Telecare
Vol.14 Supplement

一般社団法人

日本遠隔医療学会

Japanese Telemedicine and Telecare Association

JTTA 2018 FUKUOKA

1-2	諸外国における遠隔診療の取り組みについて (岸本 純子)	2
1-3	当院における遠隔医療相談への取り組み (相良 理香子)	2
1-4	日本を訪れる外国人の「言語障壁を解消できる遠隔通訳者」の自動呼出しシステムの開発 (佐々木 春光)	3
1-5	ライブ手術を取り入れた国際遠隔学生教育の取り組み (森山 大樹)	3
1-6	台湾、中国、日本で開催している胎児心エコーの遠隔症例検討会 (川瀧 元良)	4
1-7	Improvement in the Indonesia Neuroimmunology Teleconference on 2018: Expanding the network to provide better service across Indonesia (Arthur H.P. Mawuntu)	4
1-8	Exploring the role of telemedicine in improving access to healthcare services by women and girls in rural Nepal (Rajan Parajuli)	5
2-1	就労希望のてんかん患者へのアンケート調査 ー記憶障害と言語障害に対する対面リハビリと遠隔リハビリのニーズー (廣實 真弓)	5
2-2	眼科診療補助として医療専用のプライベート SNS の利用価値 (木ノ内 玲子)	6
2-3	生活習慣病における AI による療養指導の効果に関する研究 (権藤 侑子)	6
2-4	クリニックで施行している脱毛症患者へのオンライン医療相談について (岡田 里佳)	7
2-5	遠隔皮膚科疾患診断支援サービスを使った皮膚科専門医と非皮膚科医の皮膚疾患に対する認識調査とその考察 (竹村 昌敏)	7
2-6	Telepresence を応用した普及可能な皮膚科遠隔診察の一例 (小野寺 好広)	8
2-7	在宅患者と関連職種のための医療相談の円滑化 ークラウドシステムの成果ー (坂本 秀治)	8
2-8	脊椎内視鏡手術適応患者に対するセカンドオピニオンを遠隔診療で提供することの可能性 (北村 果納子)	9
3-1	院内外で集中治療医を活用するための遠隔診療の試み (讃井 将満)	9
3-2	過疎地域における遠隔診療支援システムによる急性期脳梗塞に対する rt-PA 静注療法 (影治 照喜)	10
3-3	Telestroke による脳卒中診療体制の運用 (石原 秀行)	10
3-4	遠隔集中治療 (tele-ICU) に関する取り組み (中西 智之)	11
3-9	遠隔集中治療に必要な複数患者管理システムの構築 (高木 俊介)	11
4-1	眼科遠隔診療に有用な在宅での矯正視力評価機器の開発 (石子 智士)	12
4-2	ドクターコール付き生体情報発信装置を用いた在宅医療支援システムの構築 (吉川 智美)	12
4-3	高齢者対話支援システムの脳科学的視点からの評価と介護施設における聴覚活用の実証実験 (中石 真一路)	13
4-4	「眠りスキャン」遠隔見守りシステムが夜間介護労働者の疲労度に及ぼす影響 ー機器としての使いやすさとその背景ー (尾林 和子)	13
4-6	統合化在宅療養情報共有システム開発に関する検討 (日根野 晃代)	14
4-7	在宅輸血における遠隔リアルタイムモニターの有効性 (西川 彰則)	14
4-8	本態性高血圧症患者を対象に標準治療に加え高血圧治療アプリを使用した時の有効性を探索的に評価をする臨床試験のプロトコル (佐竹 晃太)	15
5-1	日常における画像撮影を用いた PHR 用バイタルデータ登録に関する一検討 (小林 直樹)	15
5-2	遠隔画像診断における法的責任に関する調査研究 (五十嵐 沙織)	16
5-3	テレモニタリングデータの PHR (Personal Health Record) への活用法に関する検討 (本間 聡起)	16
5-4	大学病院における ICT ツールの利用 (竹内 公一)	17
6-1	宮城胎児心エコー遠隔セミナーの報告 (川瀧 元良)	17

6-2	宮城胎児心エコー遠隔セミナーの報告 -参加者へのアンケート調査- (長澤 智子)	18
6-4	双方向ビデオ通話アプリの地域周産期現場における有用性と課題について (海野 光昭)	18
7-1	広域 IT ネットワークを利用した遠隔胎児診断支援システム開始後 1 年間の 評価と今後の課題 (閑野 知佳)	19
7-2	臨床応用可能な新生児蘇生における遠隔支援のためのシミュレーション教育用ツール およびシステム開発 (岩永 甲午郎)	19
8-1	付け爪型脈波計測システムの実用化に向けた小型無線通信回路の性能評価 (三宅 真正)	20
8-2	付け爪型脈波計による生活環境下での脈計測と体動アーチファクトの検討 (石井 耕平)	20
8-3	慢性心不全増悪による再入院を防ぐために遠隔モニタリングを用いた早期介入が 有用だった症例 (酒井 博司)	21
8-4	遠隔モニタリング時代における植込型心電図記録計使用の現状 (南口 仁)	21
8-5	ウェアラブルセンサーによる遠隔心電図モニタリングの有用性と将来性 (立石 憲彦)	22
9-1	遠隔医療の維持透析診療への導入 (風間 順一郎)	22
9-2	遠隔医療を用いて心臓手術の麻酔管理の支援を施行した一症例 (鈴木 真也)	23
9-3	遠隔医療機器を用いて超音波ガイド下神経ブロック指導を施行した一症例 (岩田 千広)	23
9-4	オンライン診療実現に向けた C 反応性蛋白迅速測定機器の開発 (権藤 侑子)	24
9-5	「禁煙アプリ」を併用した標準禁煙治療プログラムにおけるオンライン診療および対面診療の 多施設無作為化比較試験プロトコル (谷川 朋幸)	24
10-2	心不全領域におけるオンライン診療システムの構築とセキュリティの検討 (山下 貴範)	25
10-3	地域医療における心原性脳塞栓症発症など予防医療に対する新しい取り組み (久保山 修)	25
11-2	遠隔診療を見越した複数カメラによる映像伝送の検証 (安徳 恭彰)	26
S2-1	日本遠隔医療学会周産期医療分科会の方向性について (小笠原 敏浩)	27
S2-2	超小型モバイル CTG (プチ CTG) を用いた遠隔周産期管理システムの開発と そのグローバル展開 (原 量宏)	27
S2-3	重症心疾患の胎児診断に果たす遠隔医療の役割 (川瀧 元良)	28
S2-4	南アフリカ、タイ・チェンマイにおけるプチ CTG を使った 遠隔妊婦健診海外実証テスト報告 (尾形 優子)	28
S2-5	モバイルアプリケーションによるミャンマー農村地域の医療システム検討 (樽松 八平)	29
S3-1	CPAP 遠隔モニタリングを用いた早期介入の意義 (富田 康弘)	29
S3-2	当院における遠隔監視 PSG システムの実績 (八木 朝子)	30
S3-3	睡眠医療における Teleconsultation の有用性 (林田 健一)	30
S3-4	オンライン診療の SAS への応用 (武藤 真祐)	31
S4-1	オンライン診療に関する法的論点 (田丸 雄太)	31
S4-2	オンライン診療に関する制度の整理と課題 (加藤 浩晃)	32
S4-3	オンライン診療研究会の発足について (来田 誠)	32
S5-1	人工呼吸器のアラーム伝送の院内実証実験 (中村 昭則)	33
S5-2	在宅人工呼吸器からのアラーム伝送とモニタリング実証実験 (吉川 健太郎)	33
S5-3	人工呼吸器アラーム情報のクラウド型多地点通報システムの開発 (藤原 尚)	34
S5-4	遠隔モニタリングガイドラインに対応した在宅医療機器の IoT 化 (黒田 正博)	34
S6-1	歯科における遠隔医療の現状と可能性 (長縄 拓哉)	35
S6-2	歯科遠隔医療における VR -子どもの自立的な姿勢を育むツールとしての可能性- (松村 雅代)	35
S6-3	少子超高齢社会を背景に歯科遠隔診療・相談および医科歯科連携についての取り組み (竹山 旭)	36
S6-4	訪問看護ステーションにおける口腔ケアの必要性と遠隔歯科診療との連携について (高丸 慶)	36

S7-1	研究から臨床へ － J-INTEREST オーバービューと我が国における精神科遠隔医療の展望－ (岸本 泰士郎) ……	37
S7-2	高齢者に対する遠隔認知機能検査信頼性試験 (飯干 紀代子) ……	37
S7-3	強迫症・社交不安症・パニック症の患者への在宅 WEB 会議による遠隔認知行動療法の シングルアーム試験 (松本 一記) ……	38
S7-4	オンライン診療の精神科領域での実践 (来田 誠) ……	38
S7-5	精神科領域も含む遠隔医療・オンライン診療に関する政策動向と今後の展望 (吉村 健佑) ……	39
S8-1	日本の医療通訳の現状と諸外国における医療通訳の現状 (長嶺 めぐみ) ……	39
S8-2	医療通訳者における文化的背景の理解の重要性 (田中 佐代子) ……	40
S8-3	諸外国の遠隔医療の現状について (佐々木 留美) ……	40
学会会長講演	オンライン診療を新たな潮流として遠隔医療が医療を変える (近藤 博史) ……	41
特別講演	日本の禁煙の進歩と遠隔医療 (高橋 裕子) ……	41
招待講演1	バーチャルスライドの有用性 －テレパソロジーを含む病理診断、カンファレンス、教育への応用－ (八尾 隆史) ……	42
招待講演2	遠隔健康医療相談『小児科オンライン』『産婦人科オンライン』 －妊娠・子育てにおいて誰も孤立しない社会を目指して－ (橋本 直也) ……	42
招待講演3	在宅医療および認知症診療におけるオンライン診療の実際 (内田 直樹) ……	43
SP1	遠隔医療教育の世界的展開 (清水 周次) ……	43
SP1-1	関連施設の手術手技の向上と標準化を目指した佐賀大学手術ビデオカンファレンス (真鍋 達也) ……	44
SP1-2	The expansion of dental telemedicine in Surabaya (Aqsa Sjuhada Oki) ……	44
SP1-3	The Endoscopic Club E-conference and various other special interest groups of the APAN medical working group (Shiaw-Hooi Ho) ……	45
SP1-4	Latin endoscopy teleconference (Pablo Cortes) ……	45
SP1-5	Russian-Japanese clinical case teleconference on gastrointestinal endoscopy: Start up and initial experience (Roman Kuvayev) ……	46
SP1-6	遠隔医療会議を通じた日本・イラク医療学術交流 (齋木 都夫) ……	47
SP1-7	タンザニア助産師に対する胎児超音波診察技術の遠隔教育の実現可能性 (新福 洋子) ……	47
SP2	行政の視点で捉えるオンライン診療とこれからの目指すべき姿 (奥野 哲朗) ……	48
SP2-1	オンライン診療のいま －福岡市医師会および福岡市におけるかかりつけ医機能強化の進展－ (庄司 哲也) ……	48
SP2-2	東京都医師会員のオンライン診療に対する評価 (目々澤 肇) ……	49
SH1	PHR データの国際標準化動向 (田上 信介) ……	49
SH1-1	複数の遠隔モニタデータを用いた遠隔診療アラート検出の一検討 (小林 直樹) ……	50
SH1-2	遠隔モニタリングを支える情報システムのあり方について (黒田 知宏) ……	50
SH1-3	母子 PHR 利活用システムの構築 (松島 一彰) ……	51
SH1-4	ユーザーインターフェース改善を目的とした遠隔診療用アプリケーションと診察補助装置の開発 －診療所要時間の改善効果－ (本間 聡起) ……	51
SH1-5	世界標準 IHE を用いた医療連携システムの維持期における課題 (近藤 博史) ……	52
SH2-1	海外在留邦人のための遠隔医療の可能性 －外務省医務官の立場から－ (猪瀬 崇徳) ……	52
SH2-2	海外在留邦人の睡眠呼吸障害に対する遠隔医療の有用性の検討 (吉嶺 裕之) ……	53
SH2-3	遠隔医療のアジア展開事例について (樽松 八平) ……	53
SH2-4	中国からの訪日患者の適性を評価するための遠隔画像診断支援手法の構築 (嗣江 健栄) ……	54
SH2-5	Proven effectiveness of telemedicine based health-care services for arsenic victims in rural Bangladesh (Haque A) ……	54

JTTA Spring Conference 2018

1-1	双方向ビデオ通信を用いた新生児蘇生処置支援 ー地域周産期医療における遠隔診療支援システムの試みー (海野 光昭)	58
1-2	岩国医療センターの teleradiology system 導入について ー市中病院での遠隔読影システム導入の垣根を低くするためのノウハウー (原 武史)	58
1-3	日本版遠隔集中治療の構築に向けた課題と展望 (高木 俊介)	59
1-4	治療アプリ・デジタル療法の概況 ー米国を中心とした海外の現状と我が国における現状と展望ー (佐竹 晃太)	59
2-1	CPAP 遠隔モニタリング ー遠隔診療に初の診療報酬化ー (吉嶺 裕之)	60
2-2	歯科における遠隔診療の現状と可能性 (長縄 拓哉)	60
2-3	履修証明制度を活用した遠隔医療マネジメント人材の養成 ー大学における社会人の学び直しと遠隔医療ー (竹内 公一)	61
2-4	認知症診療における遠隔医療の有用性 ー遠隔医療と老人ホーム、認知症ネットワークー (井上 昌彦)	61
2-5	高知県梶原町における実証研究 ーへき地における遠隔医療、人工知能ー (竹村 昌敏)	62
S1-1	アラーム複合情報伝送のための病院内実証実験 (中村 昭則)	62
S1-2	アラーム遠隔伝送のための超小型ゲートウェイの開発 (吉川 健太郎)	63
S1-3	ネットワーク化医療機器の遠隔利用に向けた国際的な活動について (黒田 正博)	63
S1-4	ネットワーク化されたアラームシステムの国際安全性規格への整合性 (鎮西 清行)	64
S1-5	ガイドライン対応アラーム信号処理のためのクラウドシステムの開発 (藤原 尚)	64
S2-1	遠隔診療の有効性・安全性に関するエビデンスの飛躍的な創出を可能とする方策に関する研究 ー平成 29 年度厚生労働行政推進調査事業報告ー (長谷川 高志)	65
S2-2	遠隔診療の着実な推進に向けた課題整理 (佐藤 大介)	66
S2-3	遠隔診療に関する網羅的な診療行為リストの作成 (清水 隆明)	67
S2-4	遠隔診療の研究手法についての文献考察 (鈴木 亮二)	67
シンポジウム	オンライン診療における福岡市医師会および福岡市の先進的取り組みについて (庄司 哲也)	68
K1	ユニバーサルヘルスカバレッジの実現に向けたアジア地域の医療 ICT への取り組み (小林 慎治)	68
K2	UHC を目指す保健医療協力における ICT の活用スケールアップと 持続性確保のための教訓活用 (渡部 晃三)	69
K3	諸外国における遠隔医療の取り組みについて (岸本 純子)	69
	日本遠隔医療学会雑誌投稿規程	70
	NOTICE TO CONTRIBUTORS	75
	日本遠隔医療学会雑誌に掲載された論文・記事の著作権の扱い	77